

町の人口

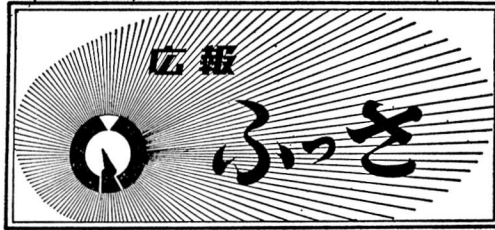
昭和44年1月1日現在  
住民台帳人口36,909人

男	18,153人
女	18,756人
世帯数	10,867戸
(増)	323人
(減)	256人

12月中

1969. 1. 10.

No. 89



発行所 福生町役場  
発行兼 企画調査室  
編集人  
電話51-1511・内線204

# 新春によせて

## 福生町長 石川常太郎



新年あけましておめでとうございます。  
います。

昨年は何かとお世話になり、おかげさまで、町も目下順調に一歩々住みよい町造りに向けて前進しております。これもみなさま方の格別のご協力のたまものと深くお礼申しあげます。

わたくしは、昨年町長に再度就任以来、この二、三年が町の将来を基礎づくる重要な時期であると

福生町のみなさん、明けましておめでとうございます。  
希望に満ちた新春を迎えるにあたり、みなさまのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

わたくしは、一昨年五月議長の重職について以来議会の円満なる運営と町政の伸展を第一義として誠心誠意努力してまいりました。おかげをもちまして、大過なく越年することができました。

これは、ひとえにみなさま方の



## 田村 匡雄

### 福生町議会議長

ご支援ご協力の賜と心から感謝いたします次第であります。

願ひますと、福生町は年毎に発展し、町政の施行以来本年をもって二十九年目をむかえ、開発も

進み、いよいよ隆盛の一途をたどり、人口も四方になろうとしております。

これは、全町民の愛町精神がきわめて旺盛なこと、また、町行政運営のよろしきを得た結果である、過去を回顧し、まことに感慨無量のものがあります。

思っております。

ご承知のように三多摩地区の都市化は急速に進み、わが福生町もここ数年來、急激に発展しつつあります。特に当町は西多摩郡の玄関口で交通上の要所にあたり、郡の中心都市として位置づけられております。従いまして、常にそのような立場に立つて町行政を進めなければなりません。

すなわち少くとも他の町村に比べて、一歩先に進むことが必要であると考えます。

このため安全で健康なしかも快適な生活ができる町づくりをするために、限られた財源の中から、

進し、生活の安定を図るには、今後幾多の重要問題が山積しております。その解決と促進を図ることは直接町政を担当する私共と課せられた責務であり、国及び郡の施策と相まって、町財政の許す範囲において最大の効果があげられるよう努力する覚悟であります。

なお、昨年から議会をあげて努力してまいりました新市制の実現については、更に続けて努力いたすつもりです。

昭和四十四年こそ、福生にとりまして、大躍進の年として、行政全般にわたる、内容充実し最大の努力を傾ける所存でありますので、何卒倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

まづ建設事業を中心に現在の施策を進めております。

すなわち、教育施設の充実のために、本年度は、仮称第五小学校の建設も着々と進んでおり、また町道の舗装事業も予算の許す限り、行なっております。

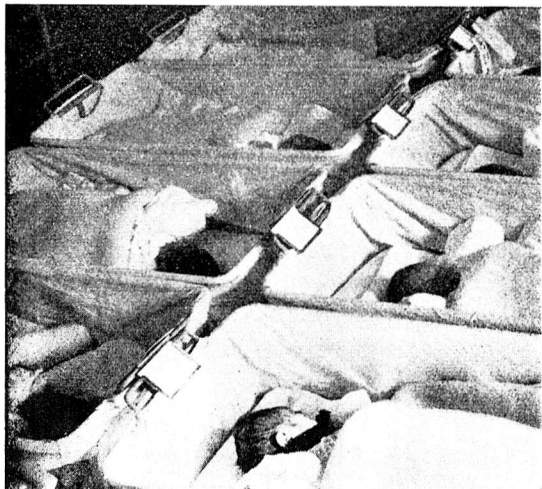
また、明日の福生町の基礎づくりとして、多摩川地区西整理事業もよりやく関係者の方々のご協力により、軌道にのってまいりましたが、さらに、福生駅東口の開発事業についても着々計画を進めており、福祉会館の建設についても、本年中に着工するため、目下計画を進めております。

わたくしは、また福生町がより住みよい栄える町になるために、隣接町村と極力一つになることが必要だと思っておりますが、その前提として現在、全国の関係町と共に市制実現の運動を議会と共に進めております。

これは法律改正を伴う問題でございますので、なかなか思うようにはまいりませんが、全国の関係町と一層の協力を重ねて、実現に努力したいと思っております。

昭和四十四年は、町にとっても大きく飛躍する年であります。

どうか、今後とも、より一層みなさま方のご指導とご協力により住みよい町づくりがご協力によりお願い申しあげ、年頭のご挨拶といたします。



② ↑ 今日もうぶ声が……………

町には、1日3人の赤ちゃんが生まれ、9人が転入してきます。転入者はほとんど東京都内と神奈川県からやってきます。

③ ↓ 追いつめられる農業

昨年は、303.6アールの農地が宅地になりました。専業農家人口も減少し総数281名にすぎず、ほとんどが高令者です。なお、この1年間全く作付けしなかった田は399アール、畑は1441アールもあり、農業経営に一つの問題をなげかれています。

年令別専業農家人口

総数	281名		
10才台	0名	40才台	46名
20才台	2名	50才台	57名
30才台	32名	60才台	144名



都市の爆発的膨張は、世界的な傾向であります。1千万東京の人口は、恰も三多摩を蚕食するがごとくおしよせ、都市化が急テンポで進んでいます。

福生町も、そのおおりをうけて激しく変貌し、鼓動しています。

←① 役場屋上から見た福生町

昨年は360戸の家がたちました。町には1日1戸の割合で新しい家がつきつきと建っています。

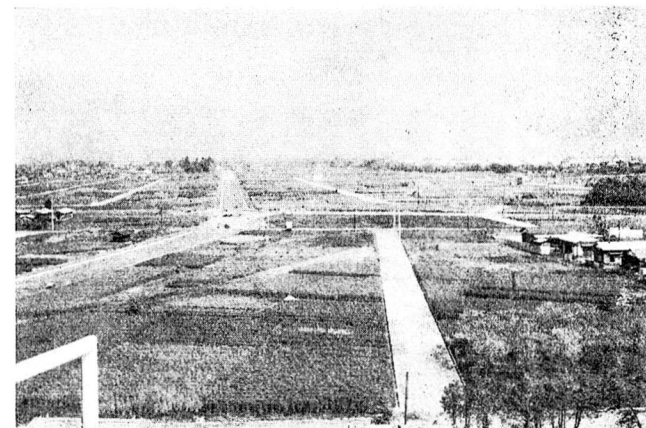


朝の福生駅

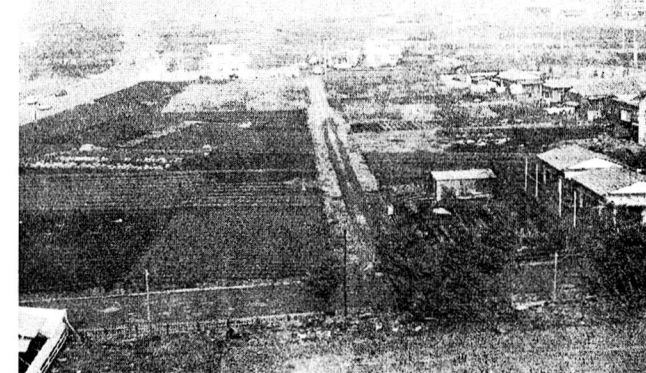
人……人……人

朝とともに、西多摩の玄関福生駅には、人々の足音がとどろく。それぞれの希望と夢をたくし、都心へ都心へと運ばれる人たちがたった10年前、まばらだっだ短いプラットホームも、いまはすっかり延長され、一時に2000名がどっとおしよせている。ふくれがあった東京の人口、そのあふれでた人々を受けとめる福生町の顔がここにある。

今日も誰れかが生まれ、誰れかが町にやってくる。町はこれを受けとめ、たくましく活動しつづける。



(昭和41年春の加美平)



(現在の加美平)

# 福生市を目ざし

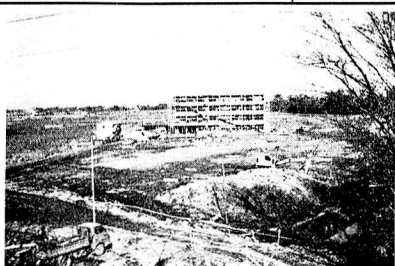
## 美田を美しい街に

### 水田地帯の区画整理を本年度から着手

初夏には緑の波、秋になると美しいがねの波がみられました福生町西部のたんぼの土地区画整理事業区域が、東京都計画地方審議会により決定され、開発計画を進めていくことになりました。

区域は多摩川沿いにある約七〇ヘクタールの水田地帯で、当町に残されたただひとつの開発区域です。

ここを住宅地を主とした美しい街に整備し、近い将来「福生市」



水田の中に建設中の第五小学校

を誕生させようとするもので、昨年から地元の関係者とも協議しながらプランをかため、約三百人の権利者のほとんどが賛成されています。

計画の内容は、今後も検討をかさねていきますが、水田のほか中央線の縦横にそれぞれ市16メートルの道路(2・19街路、2・2・4街路)をつくり、これらと五日市街道、奥多摩街道の主要街道とを結んで、住民の足を確保し、

適所に「水の公園」なども配して住みよい住宅街にしようとするものです。

事業は本年中に着手し、昭和四十八年度には完成する予定です。

総事業費は約十億円を見込んでいます。よい市街化予想図を全て関係者には、土地の高度利用をしていただき、すばらしい「福生市」のニュータウン化をはかっていくようになります。

「柳山」で親しまれている福生緑地、夏になると水しぶきをあげるプール、このほかにも、この区域にふさわしい公園を建設し、小中学校も建設します。

完成が楽しみでいっぱい、「たんぼの開発事業」です。

# 選挙管理委員改選される

## 第4回定例議会

昭和43年第4回福生町議会定例議会は12月10日から23日まで13日の会期をもって開催されました。

会議は杉本皆雄議員他三名の一般質問からはじまり、福生町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など、議案16件、諮願1件、陳情1件について、慎重な審議をおこない、9件を各委員会に付託し他は原案どおり可決しました。

主な内容は、つぎのとおりです

### 中央線の快速電車運行改善に関する意見書を提出

つぎのとおり、意見書を提出しました。

最近の青梅線沿線および八王子方面の人口増加は、まことにいちじるしく、立川以西から都市への通勤、通学は激増し朝夕のラッシュ時における中央線(立川―新宿間)の混雑はまことに言語に絶するものがあり、交通地獄の様相を呈している。

さきに発表された東京都中期計画にもとづく向う三十九年の人口増は、35万人と推定され、これら的大部分は必然的に立川以西の中央線、青梅線沿線に集中し、中央線

の混雑は益々激化の一途をたどるものと予想される。

このようなすう勢から中央線の復た線による輸送力の増強は、首都圏交通対策の最も緊急な改善事業として促進されなければならぬ。

よって、政府ならびに国鉄当局は、今春四月からの中央線ダイヤ改正にあたり、通勤時における運行を現行の特別快速電車と同じょうに主要駅のみ停車する運行に改正し、輸送力の技術的な増強をはかられたい。

右、地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和四十三年十二月二十三日

西多摩郡福生町議会議長

運輸大臣 田村 匡雄

日本国府鉄道総裁 殿

### 福生町選挙管理委員 改選される

福生町選挙管理委員の任期満了に伴い、新たにつきの方々が選ばれました。

委員 細谷 作一 福生町福生一(六) 石川松太郎 〃 熊川三八九

笹本 太郎 〃 福生二八二  
高崎弥太郎 〃 福生一七五  
補充員

吉沢 利治 熊川 三六六

篠崎 善一 福生町本町六九

森田 幸一 〃 熊川七三二

古谷 幸雄 〃 福生五九五

▽ 一般会計補正予算第三号(八〇〇万円追加)

▽ 畜産特別会計補正予算(二四一万円追加)

▽ 都市計画福生土地区画整理事業特別会計補正予算(一一三万円減)

▽ 公益質屋特別会計補正予算二号(二十五万円追加)

▽ 公共用地特別会計予算(2・2・街路(柳通り)拡張のための用地買収及び移転補償費を二二五〇万円計上)

### 新入学児をお持ちのみなさんへ

今年の春、小学校へ入学される新入学児(昭和37年4月2日〜昭和38年4月1日生れ)には、教育委員会から、一月中旬頃、入学通知書を各家庭に郵送いたします。この入学通知には、お子様の入学される学校、健康診断の日を記載してありますので、指定された日には、必ず入学通知書を持参のうえ、検査を受けてください。なお、入学通知書が届かない方や詳しいことは福生町教育委員会にご相談ください。